**安全な自転車乗り**５年　内古　葵

　５年生になって、自転車で行ける範囲が、学区内まで広がりました。わたしは、自転車にのって出かけるのが大好きです。風があたって、気持ちがいいからです。

　しかし、最近、テレビのニュースでも見ますが、自転車の事故が多いです。飛び出しや自転車どうしのぶつかり、車との接触などこわい事故がたくさんあります。

　わたしも、歩道から車道に出る時、車がすぐ近くにいて、驚いたことが何度かありました。また、坂道で自転車をこいでいて、うまく上がれず転んでしまったこともありました。もし、後ろから車がスピードを出してきていたらと思うと、ぞっとします。自転車はとても楽しいけど、危険な乗り物でもあるんだなあと改めて感じました。

　自分で自分の命を守るために、気を付けなければいけないと思ったことが２つあります。

　１つ目は、ヘルメットをかぶることです。ヘルメットをかぶらないと、頭を打ってしまってとても危ないです。だから、わたしは、ヘルメットをかぶることをしっかり守っていきたいです。

　２つ目は、自転車の点検です。

　ブレーキがきかなくて、ぶつかったり飛び出したりしないようにしたいです。また、ライトも大切です。暗い道では、ライトをつけないと、車や歩行者に自分がいることを知らせることができず、大きな事故につながってしまうかもしれません。とても危険です。

　そんなふうにならないためにも、春の交通安全教室で学習した「ぶたはしゃべる」の合言葉を思い出して、１つ１つ点検して安全な自転車に乗れるようにしたいです。

　これからも、安全に楽しく自転車に乗れるよう、気を付けていきたいです。